

投資者の皆様へ

2020年2月27日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社の中小型株式ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。直近で米国株式市場が大幅に下落した影響から、国内株式市場においても大きく下落いたしました。これを受けて、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資助言を受け弊社が運用しております以下のファンドも影響を受け、基準価額が下記の通り下落いたしました。

つきましては、助言ファンドに関するエンジェルジャパン・アセットマネジメントの投資方針等についてお知らせいたします。

1.直近の基準価額及び騰落率

ファンド名	2月25日		2月26日		2月27日	
	前営業日比	前営業日比	前営業日比	前営業日比	前営業日比	前営業日比
SBI小型成長株ファンド ジェイクール (愛称:jcool)	15,086円	▲3.8%	14,978円	▲0.7%	14,421円	▲3.7%
SBI日本小型成長株選抜ファンド (愛称:センバツ)	19,011円	▲3.8%	18,875円	▲0.7%	18,172円	▲3.7%
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト (愛称:jnext)	32,851円	▲3.9%	32,595円	▲0.8%	31,517円	▲3.3%
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト (年2回決算型)/愛称:jnext II	16,419円	▲3.9%	16,291円	▲0.8%	15,753円	▲3.3%
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (愛称:jrevive)	38,206円	▲3.7%	37,804円	▲1.1%	36,554円	▲3.3%
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (年2回決算型)/愛称:jrevive II	13,020円	▲3.7%	12,883円	▲1.1%	12,456円	▲3.3%
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ <DC年金>/愛称:jrevive<DC年金>	14,254円	▲3.7%	14,104円	▲1.1%	13,636円	▲3.3%

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2.エンジェルジャパン・アセットマネジメントの投資方針等

足元の株式市場では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界経済への影響を懸念して過敏な反応が続いています。

新型コロナウイルスの感染拡大については、この状況が長期化すれば、個人消費や企業の生産活動などに影響を及ぼすことが想定されるため、組入企業の短期業績についてもこの影響を受けることは考えられます。

しかしながら、現在も個別面談を通じて、組入企業の足元の業績や新型コロナウイルスによる生産活動や売上げなどに対する影響は丹念に確認を行っており、面談しているなかでは、こうした環境にもかかわらず非常に前向きに活動している企業が多いと感じています。

さらに、私どもは短期的な業績動向だけでなく、企業の中長期的な競争力・成長力を最も重視しています。あらゆる業界に、独自の強みを磨きながら成長をめざす企業が必ず存在しており、こうした企業にとっては短期的な環境変化の影響も、むしろ結果的に勝ち組としての足場を固めるチャンスと捉えています。

なお、組入企業の成長力については全般的に大きく見方は変わっておりません。したがって、ファンドを運用助言する立場であるエンジェルジャパン・アセットマネジメントとしても、短期的な悲観的観測に基づく株価調整は、潜在成長力の高い企業に対しては新規組入や買増しの好機になると捉えています。

私たちは2001年の創業来、約20年の間には幾度となく困難を経験してきましたが、その間も一貫してチームによる徹底した調査活動を継続し、革新的な成長企業を厳選し続けてきました。一方で、残高が急増した場合も、受益者の皆様にご満足いただく運用成果をめざすべく、ファンドによっては一時的に募集中止をお願いさせていただくなど、規律ある運営を継続してきました。こうしたことが、その後のパフォーマンスの源泉になっていると信じています。

この経験を踏まえましても、この一貫性こそが今後も引き続き中長期的なファンド運営には不可欠であると実感しておりますので、今一層のご信頼を頂ければ幸いです。

以上

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.2%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。